

～全国各地の競技かるたの愛好者約 529 名が一堂に集結！！～
神奈川トヨタを始めとする地元企業 44 社、
「第 96 回 全国かるた競技 横浜大会」を協賛

神奈川トヨタ自動車（取締役社長：市川英治 本社：横浜市神奈川区）は、今年も、1 月 18 日(日)、競技かるたの同好会=「横浜隼会」の主管により開催される「全国かるた競技横浜大会」に対し、地元企業 43 社とともに協賛を行なう。神奈川トヨタは創業当初より、日本の伝統文化の維持・普及促進にむけた企業による社会貢献の一環として本大会への支援を続けてきた。今年も全国各地からの参加者 529 人が一堂に集まり競技を行なう会場として、本社屋の大会議室、サービス工場等を開放するとともに、地元企業 43 社と参加者への賞品等を提供する。

「競技かるた」は、(一社)全日本かるた協会が競技大会の開催から、段位認定まで、運営全般を統括する。毎年正月に近江神宮(滋賀県大津市)で開催される「名人戦・クイーン戦」(競技かるた日本一を決定する大会)を頂点として、年間約 60 回の「全国大会」を国内各地で開催している。当横浜大会も全国大会の一つで、96 回という一世紀に及ぶ長い歴史を誇り、規模、参加者のレベルの面で全国大会のなかでも屈指の大会とされている。

本年の横浜大会は、参加者制限を行なわざるを得ないほど人気が高く、最終的に全国各地から 529 名が参加する見込み。(人気の背景には、競技かるたを題材にした、まんがアニメや競技かるたを教育に取り入れる学校数の増加による競技かるた人口の拡大がある。)

参加者の顔触れは北は札幌、南は福岡に及び、小・中・高・大学の学生から社会人まで、年齢や職業もさまざまで、競技かるたの資格で最上位の A 級(四段)が 83 名、B 級(二、三段)が 130 名、C 級(初段)が 131 名と、有段者 344 名が参加するほか、D 級(無段)も 121 名が参加する(ちなみに C 級以上の有段者数は全国で約 2000 人とされる。また、日常、競技に参加している人口は約 2 万人とみられている)。

競技かるたは各段位ごとに 2 人一組で行なわれるスポーツ競技。約三百畳の畳が敷き詰められた会場(10 階、3 階の工場の 2 箇所)で、競技者は一対一で向き合い、静寂のなか、読誦される和歌(百人一首)の上の句に精神を集中、下の句が書かれた札を瞬時に払う、静と動の対比に醍醐味があり、「日本文化の伝統美」を感じさせる瞬間となっている。

今大会はトーナメント形式で 7 回戦(一回戦約 90 分)が行なわれ、最終的に優勝者を決める決勝戦は午後 8 時半頃となり、瞬発力と記憶力に加え、気力・体力の強靭さが不可欠の要素といえる。

◇ 参加者の地域と出場予定の有力選手の顔ぶれ

春野 健太郎(1/10 名人戦挑戦者)

細井 将史(東大かるた会) 昨年度横浜大会優勝者

指宿 立(九州かるた協会)

鶴田 紗恵(九大かるた会)

森田 真央(杉並かるた会)

ロマン・エデルマン(神戸大学かるた会((フランスかるた会 B 級))

渡辺 令恵(永世クイーン)

◇ 「横浜隼会(はやぶさかい)」について

100 年を越す歴史を持ち、有段者ら約 80 名が所属、毎週 2 日、横浜市内で「競技かるた」の練習にいそしむ。なお、神奈川トヨタには横浜隼会所属の「競技かるた」永世クイーン渡辺令恵(ふみえ)が在籍する。近年、日本の伝統文化・古典に親しむ機会として競技かるたを見直す気運が高まるなか、授業に「競技かるた」を取り入れる学校が増えており、神奈川トヨタでは学校からの要請に応え、各校に講師として渡辺を派遣し、「競技かるた」を通じ教育活動の一翼を担っている。

記

■ 「第 96 回 全国かるた競技 横浜大会」

日時	平成 27 年 1 月 18 日(日) (開会式)9 時 15 分～22 時
会場	神奈川トヨタ 本社マイクスビル 10 階大会議室ほか 横浜市神奈川区栄町 7-1
主催	(社)全日本かるた協会
主管	横浜隼会
後援	神奈川県、横浜市、横浜市教育委員会、神奈川新聞社
協賛	神奈川トヨタをはじめとする地元企業 全 44 社

- ※1. ご取材くださる皆様は恐れ入りますが、あらかじめ下記担当までご一報ください。くわしいご案内をさし上げます。
- ※2. 競技中は、撮影禁止です。一回戦(10 時頃)、二回戦(12 時頃)のそれぞれの開始前に、数分ずつ撮影時間が設けられる予定です。
- ※3. 当日の取材には、横浜隼会の真木保臣(六段)氏がご対応し、解説いたします。

本件についてのお問合せ先
神奈川トヨタ 渉外広報部
黒澤(室長)・小西
TEL045-459-2216